



東京農業大学



SHOKUNO

国際食農科学科

東京農業大学 × 会津坂下町若宮地区

国際食農科学科 食農文化・政策研究室

1. 食農文化・政策研究室について

1) 食農文化・政策研究室

国際食農科学科のコンセプト

「食農文化、生産、加工、流通、消費までを学び、新たな食文化を創造する」



- 研究室的学び…
- ・ 地域の食農文化の変遷への理解
 - ・ 食農に関わる生産者行動および消費者行動
 - ・ 農業経営と農産物・食品マーケティング

2) 大学生事業のねらい→農大会津プロジェクト（研究室活動）拡大

会津坂下町の食農ビジネス（米・馬肉・酒）との産学連携プロジェクト。

→大学生事業で会津坂下町若宮地区と協働する大学の募集があり応募

→これまでなかった集落との連携により活動の幅を広げる！



東京農業大学



SHOKUNO

国際食農科学科

2. 若宮地区の概要と取り組むべき課題

1) 若宮地区の概要

- ・ 農家の高齢化に伴い、離農者や遊休農地が増加
- ・ 地域のPRと活性化を目的に「ごろべえもち」をイベントで販売してきた。
- ・ 衛生管理の対応から従来通り販売することが難しくなった。



2) 若宮地区の課題：坂下初市でごろべえもちを販売したい！

(1) ごろべえもち

もちにめんつゆで味付けした具材（ネギ、油揚げ、鰹節）をからめて食べる。油揚げ・鰹・めんつゆとネギが絶妙にマッチし、それがもちによって引き立てられた逸品

(2) 食品衛生基準をクリアし、ごろべえもちを販売可能にする

食品衛生上の課題について保健所に確認 → 加熱が必要

1年目に開発した「あげごろべえもち」を試験販売 → お客様の反応はいかに？



東京農業大学



SHOKUNO

国際食農科学科

3. 今年度の活動内容(現地活動)①

2025年度の目標：「あげごろべえもち」の会津坂下初市での販売

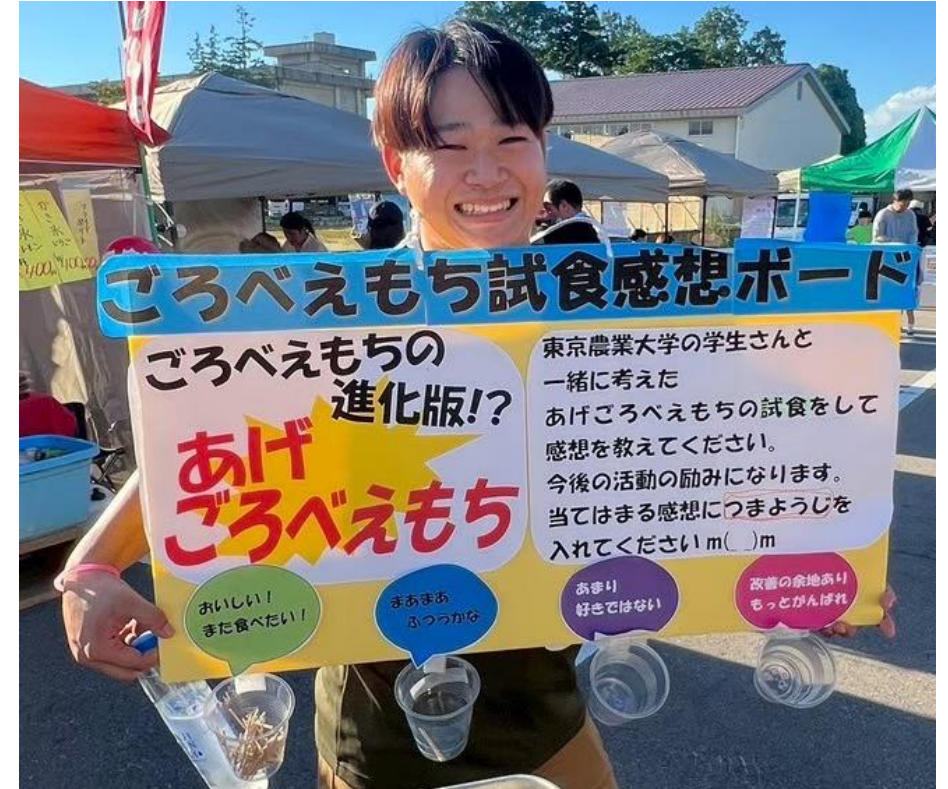
商品化に向けて、若宮地区で行われたイベントで
試食・テスト販売を実施

(1) 若宮ビアガーデン (配布)

試作品をふるまい、食べた人に評価してもらう。
意外と評価高いんじゃないか？

(2) いきいき若宮ふれあいまつり：試験販売

ごろべえもち（ノーマル）、きなこもち一緒に販売。
得体の知れないイメージ（？）のためか思ったより
売れず。しかし買って食べた人からの評価は高め。



東京農業大学



SHOKUNO

国際食農科学科

3. 今年度の活動内容(現地活動)②

本番：坂下初市（2026年1月14日）での販売

(3) 会津坂下初市

- ・ 米相場を占う奇祭大俵引きで有名（400年を超える伝統行事）
「東が勝つと米価格上昇、西が勝つと豊作」
- ・ 若宮地区は例年販売していた「ごろべえもち」を
すべて「あげごろべえもち」にして販売
- ・ 150食（300個）を目標に販売
- ・ 結果：目標を大きく超える200食超え（完売）達成！



6. まとめ

1) 「あげごろべえもち」の販売達成

- 食品衛生上の課題をクリア → 「あげごろべえもち」
- お客様の反応は良好！
テスト販売でおいしかったからと買いに来てくれたお客さんも

2) 次年度の課題

- 「あげごろべえもち」のブラッシュアップ
- 若宮地区の農産物などを含めたPR活動など

